

# リケンテクノス株式会社

## 2022年3月期決算説明会

2022年5月20日

# 2022年3月期決算概要



# 2022年3月期 連結業績サマリー

単位：百万円、円

科 目	2022年 3月 期	2021年 3月 期	前 期 比	増 減 率
売 上 高	109,923	88,224	+21,699	+24.6%
売 上 総 利 益	18,915	16,814	+2,101	+12.5%
営 業 利 益	6,292	5,313	+979	+18.4%
経 常 利 益	6,889	5,652	+1,237	+21.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,941	3,234	+707	+21.9%
1 株 当 り 利 益	62.47	51.22	+11.25	+22.0%
R O S	5.7%	6.0%	▲0.3%	-
R O E	7.1%	6.3%	+0.8%	-

※売上高及び各段階利益は過去最高。



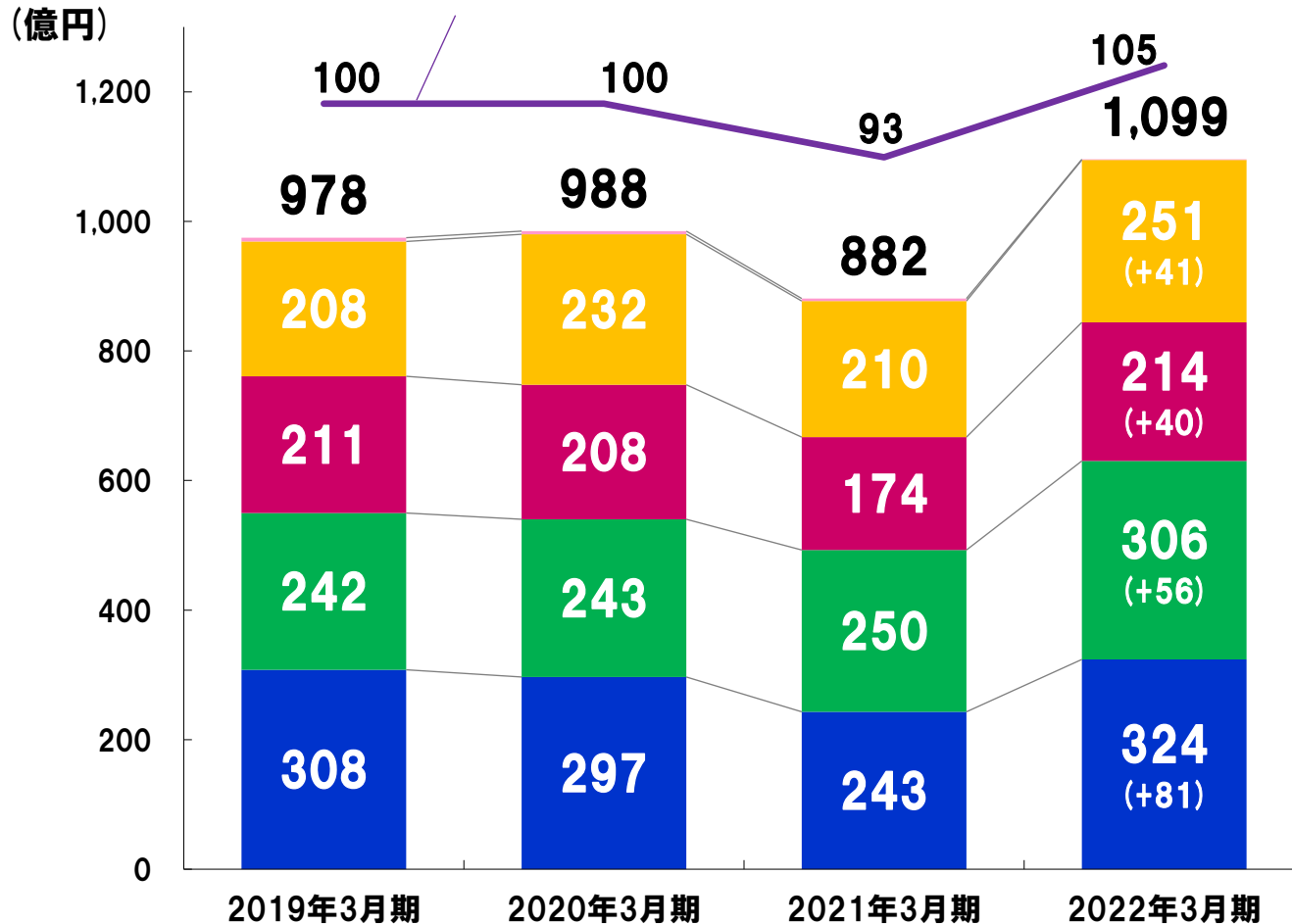
# セグメント別売上高推移

2022年3月期 売上高

**1,099億円**

前期比 216億円増(24.6%増)

2019年3月期の数量を100とした際の、売上数量推移



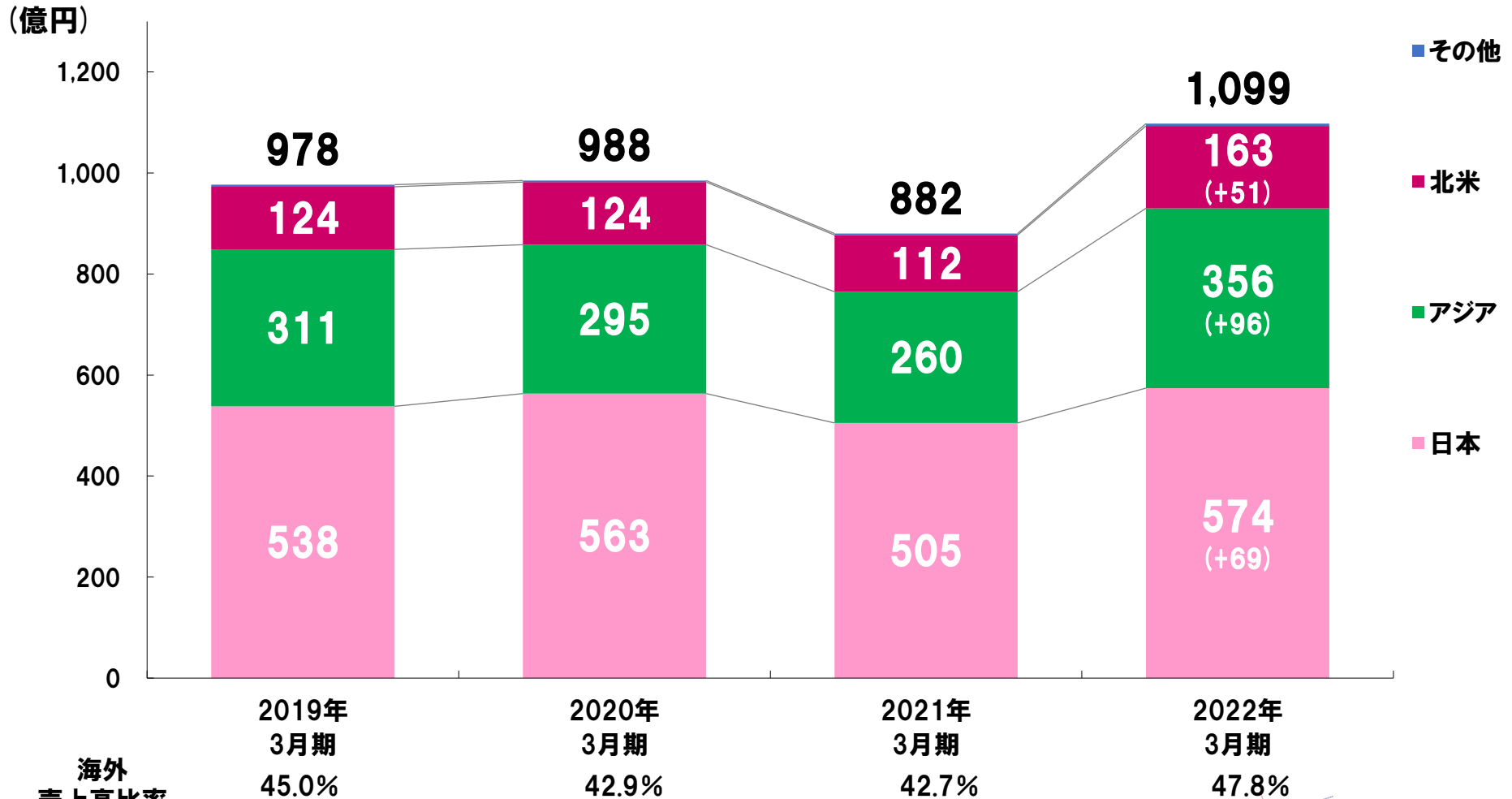
- 
**Building & Construction**  
 住宅、ビル、建築資材、土木市場等
- 
**Electronics**  
 エネルギー、情報通信、IT機器市場等
- 
**Daily Life & Healthcare**  
 医療、生活資材、食品包材市場等
- 
**Transportation**  
 自動車、鉄道、船舶市場等

# 地域別売上高推移

2022年3月期 売上高

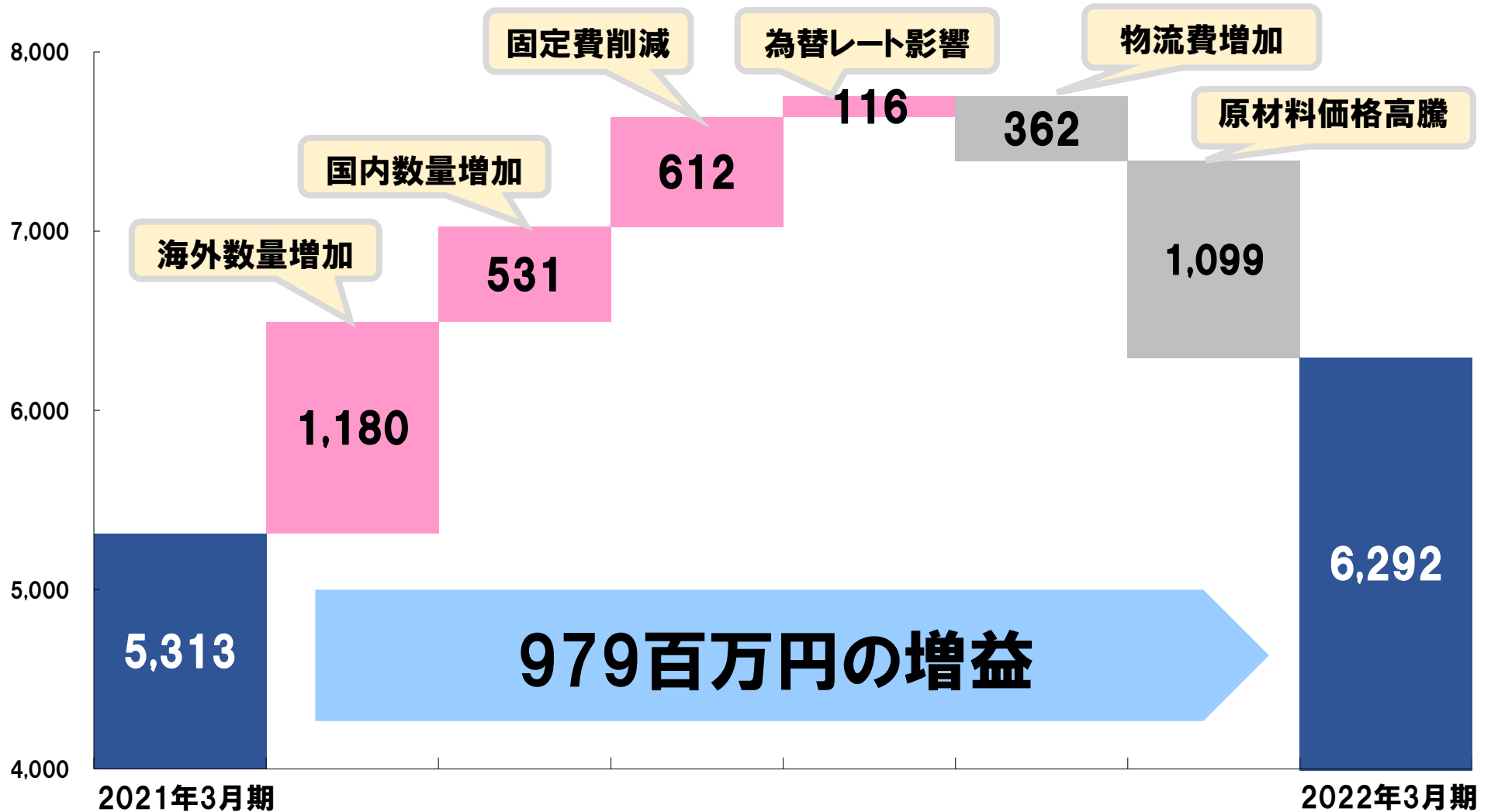
1,099億円

前期比 216億円増(24.6%増)



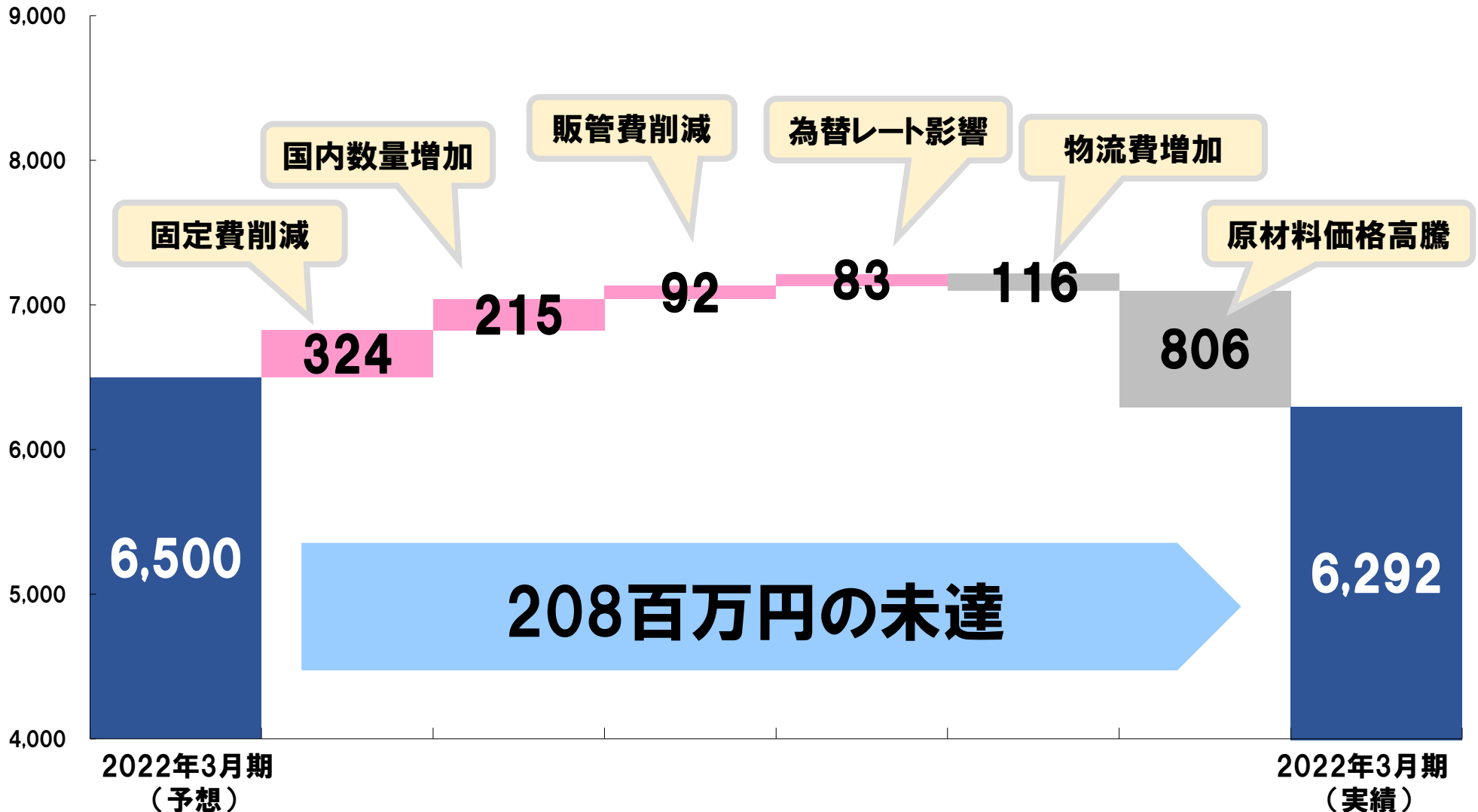
# 営業利益 前期比 増減要因分析

単位:百万円



# 営業利益 業績予想比 増減要因分析

単位:百万円



# 連結貸借対照表 キャッシュ・フロー計算書

## 連結貸借対照表

### 資産合計

102,641百万円

前期末比 7,432百万円増

流動資産 65,118百万円

固定資産 37,522百万円

### 負債合計

37,192百万円

前期末比 3,060百万円増

### 純資産合計

65,448百万円

前期末比 4,371百万円増

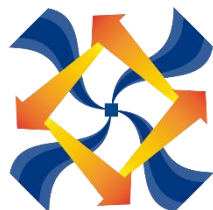
## キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	当期	前期比
営業 C F	4,572	▲4,815
投資 C F	▲2,438	+564
財務 C F	▲2,946	▲149
増減額	▲403	▲3,672
期末残高	20,677	▲403



# セグメント別概況



TRANSPORTATION



DAILY LIFE  
& HEALTHCARE



ELECTRONICS

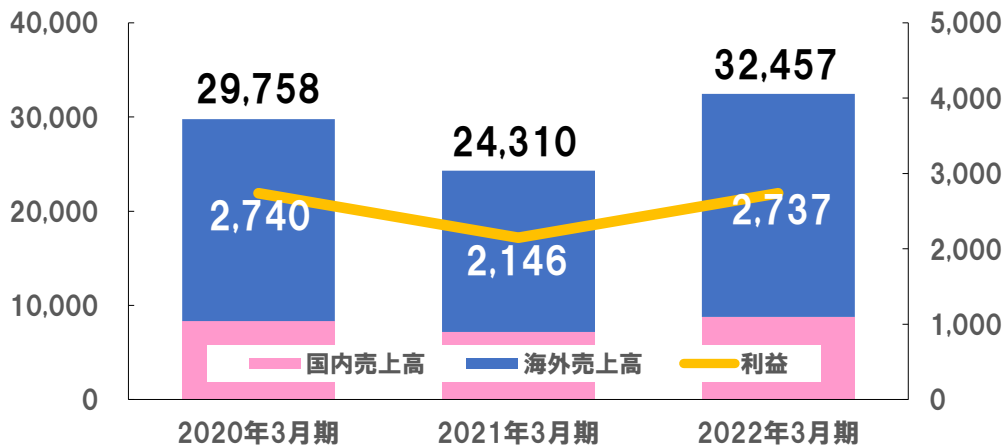


BUILDING  
& CONSTRUCTION

# I Transportation (TR)

(単位:百万円)

中計目標：売上高367億円、営業利益35億円



## 2022年3月期実績

8,146百万円増収

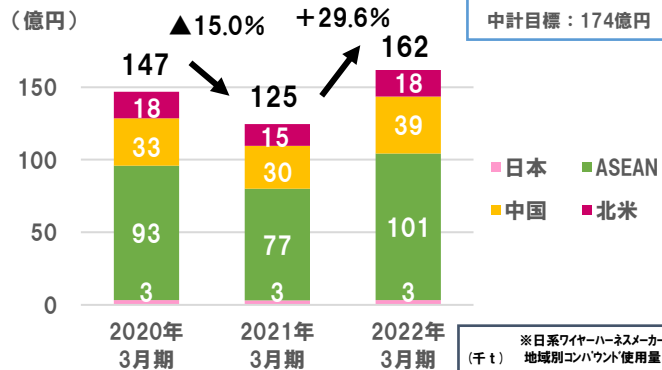
590百万円増益

前期比33.5%増

前期比27.5%増

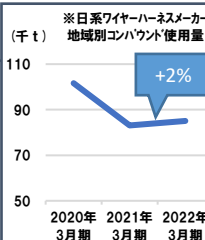
- 国内では、自動車市場が前年比93%と減少したが、エラストマーコンパウンドの販売が増加し増収。
- 海外では、自動車市場が新型コロナウイルス感染症の影響から回復し、コンパウンド販売が増加したことで増収。
- セグメント利益は国内販売の増加により増益。

### 自動車電装用コンパウンド売上高

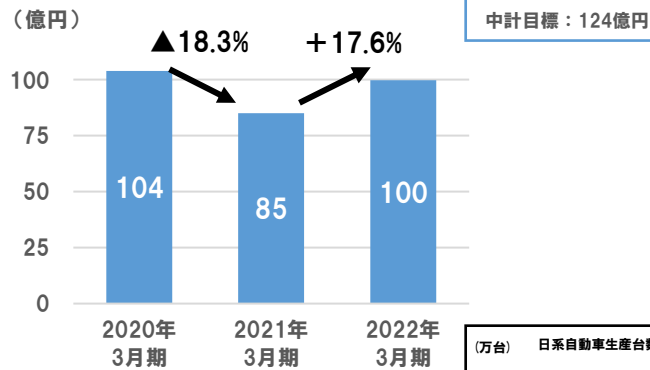


中計目標：174億円

- ・ 日系自動車メーカーの全世界生産台数は、やや回復。
- ・ ASEANにおいて薄肉電線の数量増を取込み増収。

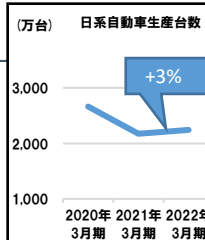


### 自動車内外装コンパウンド売上高

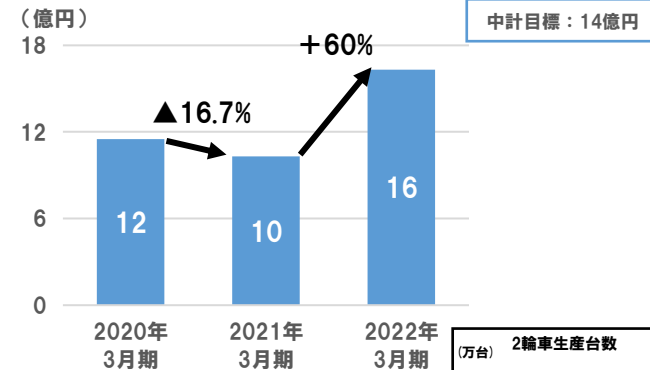


中計目標：124億円

- ・ 日系自動車メーカーの全世界生産台数はやや回復。
- ・ 国内では大手向けシール部材用コンパウンドの拡販が進み、増収。

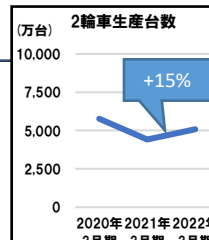


### 2輪車用部材コンパウンド売上高



中計目標：14億円

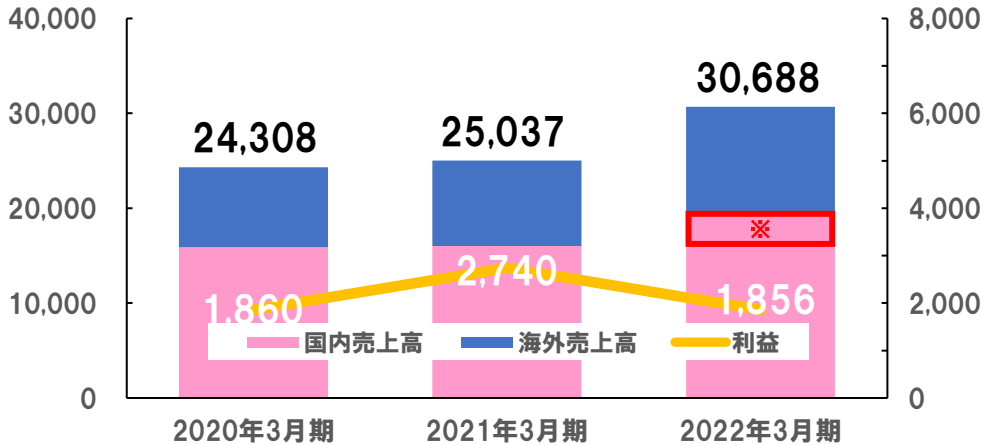
- ・ 2輪車生産はやや回復、
- ・ ASEANでの新規の顧客開拓が進み、増収。



# Ⅱ Daily Life & Healthcare (DH)

(単位:百万円)

中計目標:売上高287億円、営業利益25億円



※2022年3月期には、連結子会社の吸収合併に伴い、合併後にリケンテクノスで計上された、リケンファプロ分の2022年1～3月の3ヵ月分の売上が含まれております。

## 2022年3月期実績

5,651百万円増収

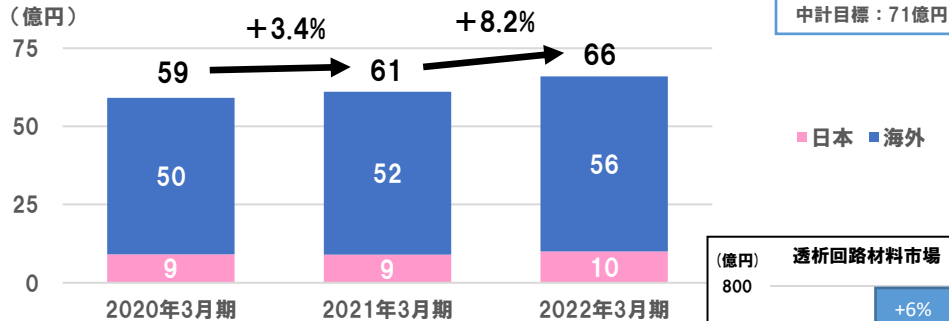
884百万円減益

前期比22.6%増

前期比32.3%減

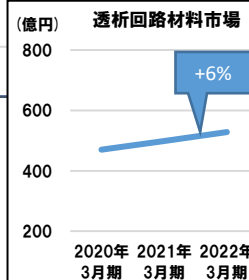
- 国内では、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復傾向にあり、生活資材市場のコンパウンド、メディア・サイン分野向けフィルム及び食品包材市場の業務用ラップの販売が増加し、増収。
- 海外では、新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にあり、医療、生活資材市場向け塩ビコンパウンドの販売が増加し、全体として増収。
- セグメント利益は、原材料価格高騰分の価格転嫁が遅れ、減益。

### 医療用コンパウンド・フィルム売上高

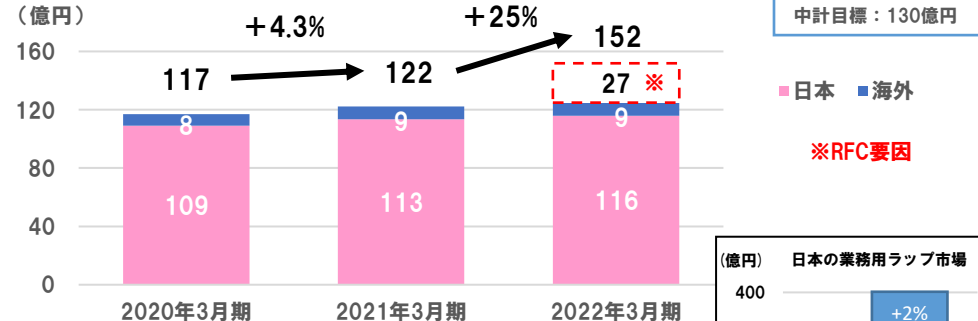


中計目標:71億円

- ・ 国内では、新規に高機能エラストマーコンパウンドの拡販が進み、増収。
- ・ 海外では、新型コロナウイルス感染症の影響による顧客工場の稼働停止もあり、販売数量は減少したが、一部価格改定の効果もあり、増収。

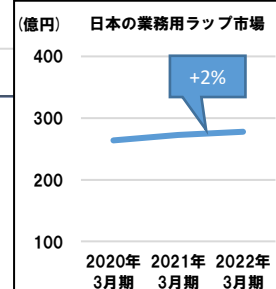


### 食品包材売上高(含、リケンファプロ合併要因3ヵ月分)



中計目標:130億円

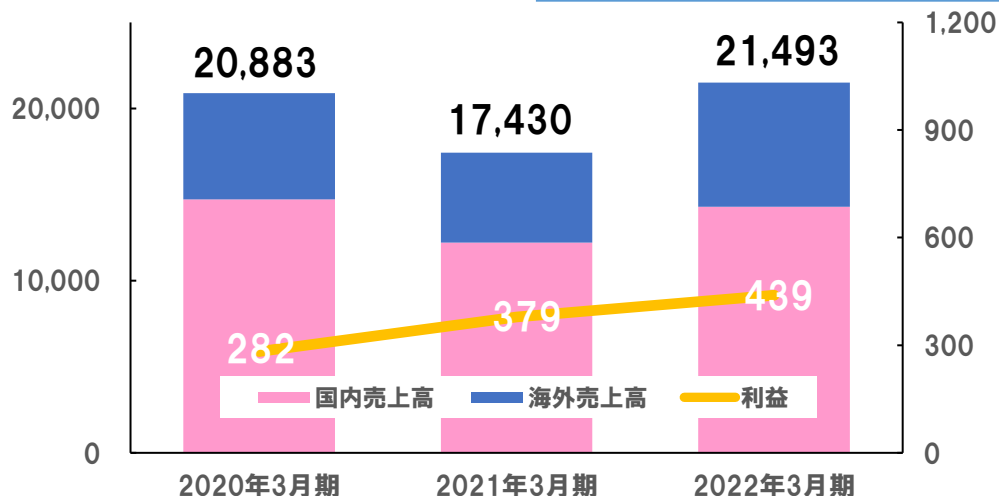
- ・ 業務用ラップは、コロナ禍による内食需要を確実に取込んだ結果、増収。
- ・ 小巻ラップは、家庭用ラップの量販店への拡販と外食市場向けの回復により増収。



# III Electronics (EL)

(単位:百万円)

中計目標:売上高255億円、営業利益17億円



## 2022年3月期実績

4,063百万円増収

59百万円増益

前期比23.3%増

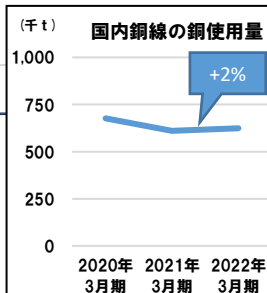
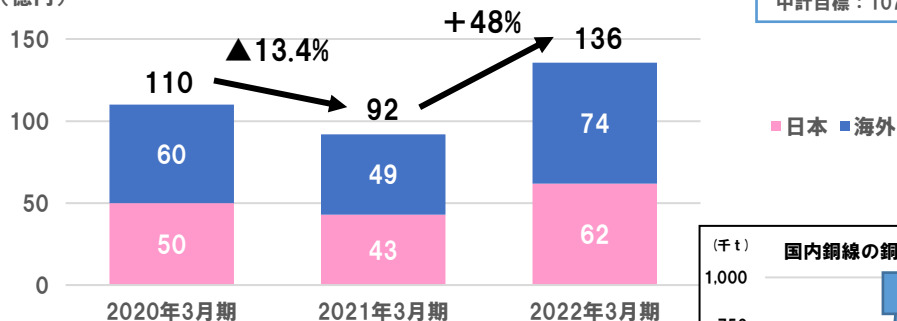
前期比15.8%増

- 国内では、新型コロナウイルス感染症の影響から回復し、エネルギー・情報通信市場においてコンパウンドの販売が増加し、増収。
- 海外では、新型コロナウイルス感染症の影響から回復し、塩ビコンパウンドの販売が増加し、増収。
- セグメント利益は、販売の増加により、増益。

## 電線用塩ビコンパウンド売上高

(億円)

中計目標:107億円

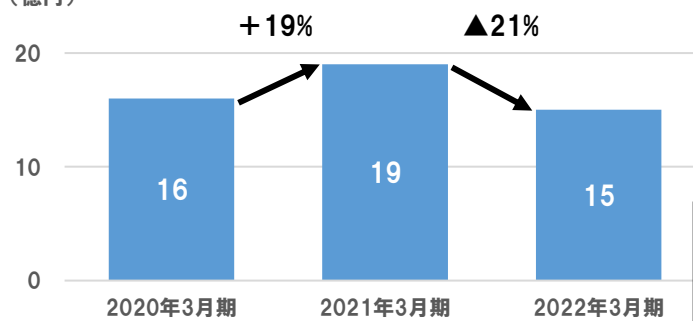


- ・ 国内では、エネルギー市場の回復基調に対し、お客様への合理化提案が受け入れられ塩ビコンパウンドの拡販が進み、増収。
- ・ 海外では、ASEAN及び北米での塩ビコンパウンドの販売が増加し、増収。

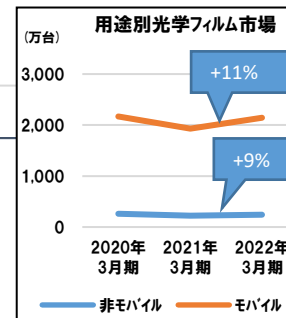
## 光学フィルム売上高

(億円)

中計目標:32億円



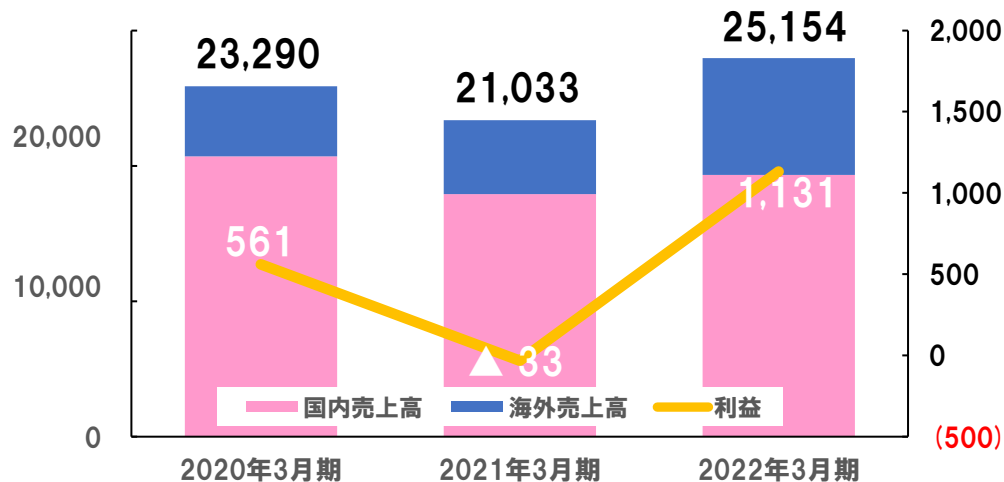
- ・ ASEANの自動車増産により、遮熱フィルムICE-μの販売が増加するも、既存大型モバイル案件のモデル終息及びリネガード需要が一巡し、減収。



# IV Building & Construction (BC)

(単位:百万円)

中計目標：売上高241億円、営業利益8億円



## 2022年3月期実績

4,120百万円増収

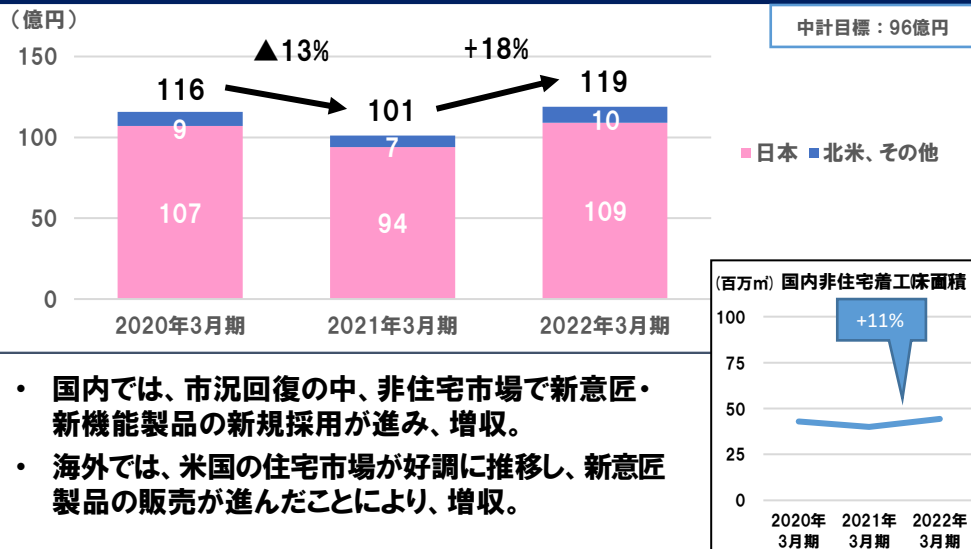
1,164百万円増益

前期比19.6%増

前期比 -

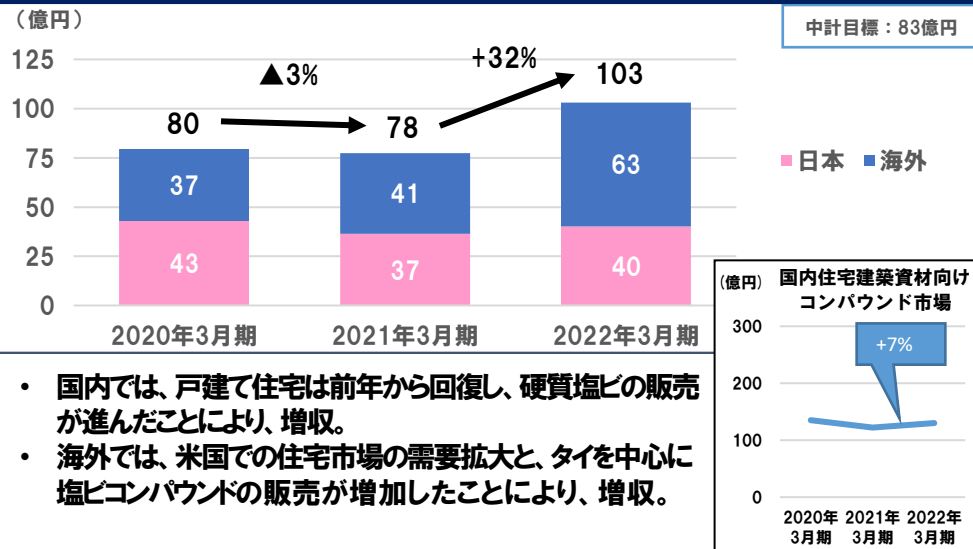
- 国内では、新型コロナウイルス感染症の影響から回復したことに加え、住宅市場・非住宅市場へのコンパウンド・フィルムの販売が増加し、増収。
- 海外では、米国の景気回復により好調に推移した住宅市場へのコンパウンド・フィルムの販売が増加し、増収。
- セグメント利益はコンパウンド・フィルム共に販売が増加し、黒字化。

## インテリアフィルム売上高



- ・ 国内では、市況回復の中、非住宅市場で新意匠・新機能製品の新規採用が進み、増収。
- ・ 海外では、米国の住宅市場が好調に推移し、新意匠製品の販売が進んだことにより、増収。

## 住宅・建築資材コンパウンド売上高



- ・ 国内では、戸建て住宅は前年から回復し、硬質塩ビの販売が進んだことにより、増収。
- ・ 海外では、米国での住宅市場の需要拡大と、タイを中心に塩ビコンパウンドの販売が増加したことにより、増収。



# 株主還元 ～配当金～

## 配当方針

連結配当性向30%程度を一つの目途とした上で、  
今後の事業投資・自己資本の充実等も勘案し、安定的な配当を行う。

(円)

	中間	期末	通期	年間配当性向 (連結)	純資産配当率 (%)
2020年3月期	8.00	8.00	16.00	33.3	2.1
2021年3月期	4.00	12.00	16.00	31.2	1.9
2022年3月期 ※	8.00	11.00	19.00	30.4	2.2

※2022年3月期については、70周年記念配当1円を加えた前期から3円増配の年間配当19円

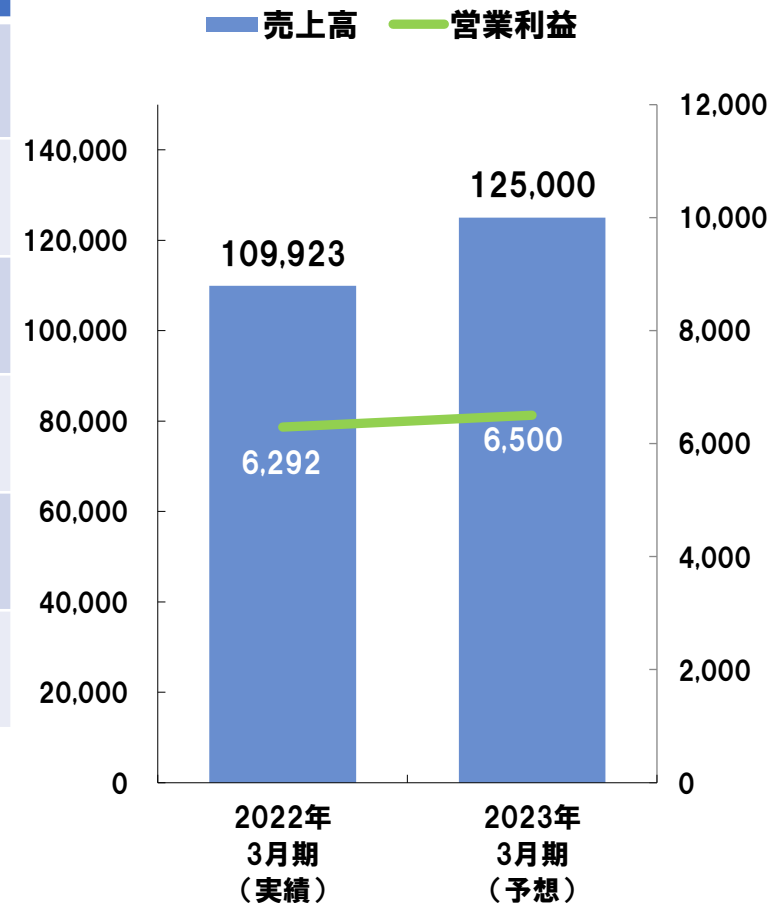
# 2023年3月期業績予想



# 2023年3月期 連結業績予想

科 目	2022年 3月期実績	2023年 3月期業績予想	伸 び 率
売 上 高	109,923	125,000	+13.7%
営 業 利 益	6,292	6,500	+3.3%
経 常 利 益	6,889	6,500	▲5.6%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	3,941	3,300	▲16.3%
1株当り利益(円)	62.47	52.26	▲16.3%
R O S	5.7%	5.2%	-

(単位：百万円)



## 【業績予想のポイント】

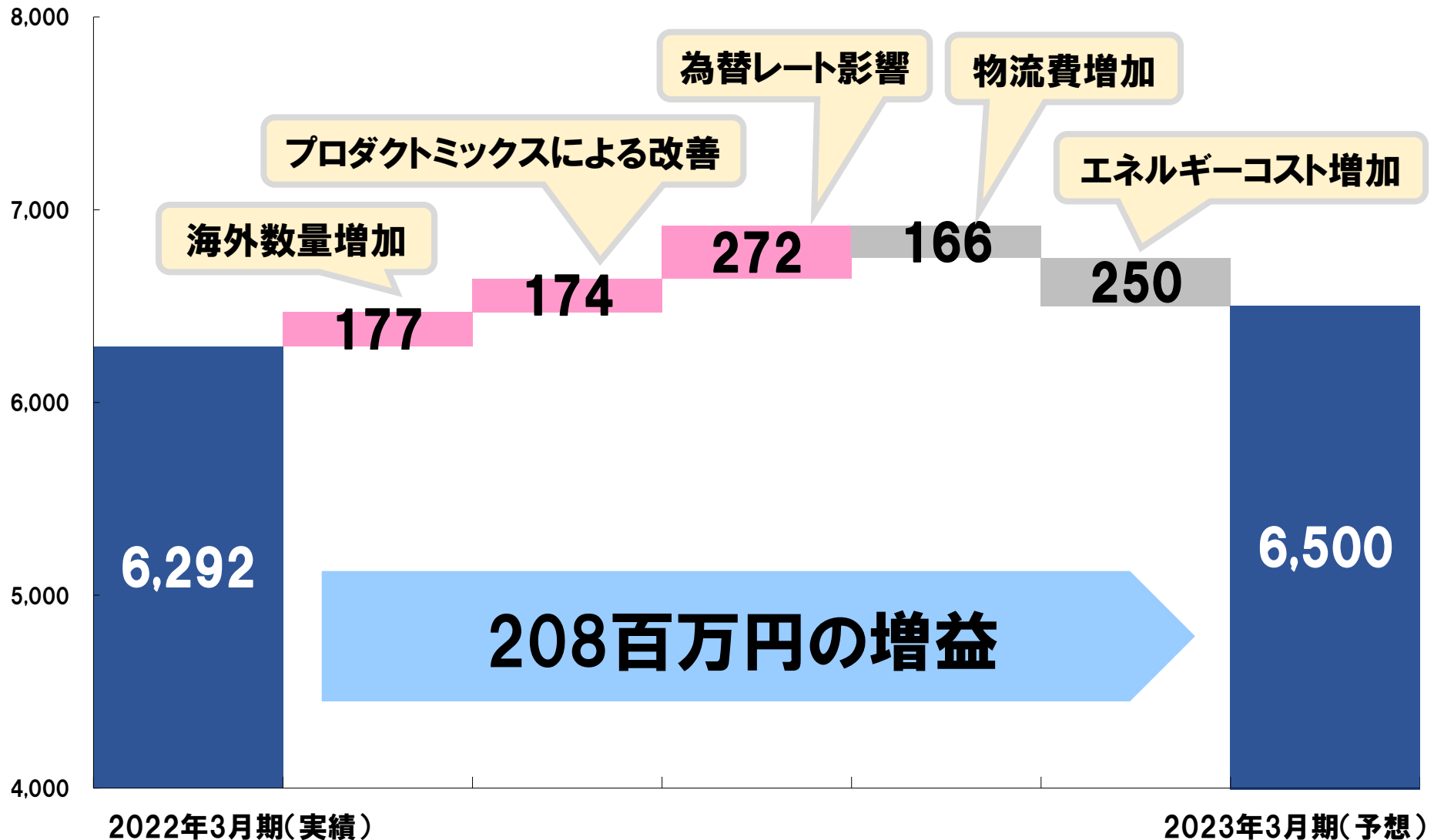
- 塩ビ樹脂や可塑剤等の主要原材料について、国産ナフサ価格の高騰による原材料価格の上昇及び高止まりを想定
- 原材料価格上昇分の製品価格への転嫁

(想定国産ナフサ価格)： 82,000円/KL (想定為替レート)：117円/USD



# 2023年3月期（予想） 営業利益 増減要因分析

単位：百万円



# 免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

## お問い合わせ先

[webmaster@rikentechnos.co.jp](mailto:webmaster@rikentechnos.co.jp)

経理部 高見

